



書道部

中田 愛子

NAKATA AIKO

進路選択を決めるのは自分自身

**将来自分がやりたい事が
公務員でもできる**

高二的の春からなんとなく公務員を受験しようかなと考えはじめ、だんだん本格的に勉強や受験先など考えるようになりました。今思い返すと、もう少し早い段階から受験準備をしておけば良かったと思います。受験した一般事務の試験では作文が二度あり、一般教養だけでなく作文、さらには面接の練習もしなければならず、準備を始めるのが遅く大変でした。

公務員を受験した決め手は、将来自分がやりたいと思っていたことが、公務員でも出来ると知ったからです。そこから、どの市町村の一般事務を受験しようか悩みました。

そんな時に、市役所の見学に参加し、見学させていただきました。市役所は色々な課があってそれぞれ業務毎に分類されているのが見て分かり、自分が受験しようか悩んでいる印南町役場と比較することができました。そこで、地元でもあった印南町役場が自分には合っていると感じ、また地元に貢献したいと強く感じ、受験することを決意しました。

勉強のために、書店で公務員合格に向けた一般教養の参考書、作文の参考書、適性検査の参考書を購入しました。そして実際にやってみて自分が苦手だと感じた問題をコツコツ潰

していく勉強法で、一日約二時間ほど集中して毎日勉強しました。ただ学校から帰って家で勉強しようとしても、なかなかやる気が出ないこともありました。そういう時は、公務員講座に参加出来るときは参加し、一時間でも勉強に触れるきっかけを作っていました。だから私は、公務員講座も職場見学も参加して良かったと思いますし、皆も参加してみたいです。

**これから進路選択をする
後輩にメッセージ**

私は三年間、ずっと書道部として部活動を一生懸命やってきました。このことで、何かひとつの事を続ける継続力の大切さを学び、公務員試験にも活かされたと思います。部活動だけでなく、他の事でも何かを継続する力はとても大切なことだと思います。

それから、親や先生と進路の相談をたくさん行い、たくさんアドバイスをもらって、自分の為になりました。

みんなに伝えたいのは親や先生の意見を聞くのはもちろん大切なのですが、将来のことを決めるのは親でも先生でもなく自分自身であるということです。

自分がしっかり進路の事を考えて行動していくことが何よりも大切なのではないのでしょうか。